

令和3年

4月号

亀岡警察署

TEL24-0110

馬路駐在所

TEL24-1365



令和3年 春の全国交通安全運動の実施

◆ 運動スローガン

『 京の春 目と手で合図 ゆずり合い 』

◆ 実施期間

令和3年4月6日(火)～4月15日(木)までの10日間
交通事故死ゼロを目指す日 4月10日(土)



◆ 運動重点

- ◇ 子供と高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
- ◇ 自転車の安全利用の推進
- ◇ 歩行者等の保護を始めとする安全運転意識の向上
- ◇ 二輪車の交通事故防止



春の連休期間中における山岳遭難の防止

◆ 京都府における山岳遭難の特徴(過去5年間の数値:平成28年～令和2年)

- 山岳遭難発生件数は166件212人(うち死亡・行方不明18人)
- 平均では毎年約40人が遭難
- 京都は低い山が多いため、必要な準備をせずにハイキング気分で山に入り、遭難する形態が多い。
- 遭難原因のうち、山道から外れた事による道迷い・転落・滑落が約72%(153人)

◆ 山で遭難しないために

- 経験、技術、体力に合ったゆとりある計画を立て、「登山計画書」を作成する。
- 登山計画書を最寄りの警察署又は登山する山岳を管轄する警察署に提出する。
- 事前に、登山する人全員に、登山ルートを詳しく知らせておく。
- 入山前に、携帯電話を充電し、GPSの使い方を理解して、予備電池を持参する。
- 非常用の食料や衣服、救急用品などを携行する。
- 健康状態と気象予報を確認し、少しでも不安がある場合は計画を変更又は中止する。
- 単独登山を避け、経験のあるリーダーの下、複数人による登山に努める。
- 見通しの良いところ、登山道の分岐点などでは、現在地と正しいルートを歩いて来たかを確認する。

◆ 山で遭難した場合には

- 夜はむやみに動かず、明るくなってから尾根に出て救助を待つ。沢を下るのは大変危険!
- 負傷した場合は応急処置を行い、仲間が複数いる場合は、手当てをするグループと救助要請に行くグループに手分けして、迅速に救助要請をする。
- 携帯電話の使用は必要最少限度にとどめ、電池の残量に注意する。

東京2020オリンピック聖火リレーにご理解とご協力を!

◆ 小型無人機等(ドローン、気球、パラグライダー等)の飛行禁止

5月25日(火)、26日(水)の2日間、京都府内で行われる東京2020オリンピック聖火リレーのコースとその周辺の地域では、関係法令に基づき小型無人機等の飛行が禁止されます。違反した場合、

1年以下の懲役又は50万円以下の罰金
に処せられる可能性があります。

